

報 告 書

開 催 日 時	令和7年6月30日				19時00分 ～ 20時45分	
自治協議会名	山田地域住民自治協議会		開 催 場 所		山田地区市民センター	
出席議員	寺村京子、上田宗久、北山太加視、桃井弘子					
	班 長	寺村 京子		記録・報告者	北山 太加視	
参加人数	23 名					

【主な意見・提言等】

＜産業廃棄物最終処分場建設計画反対運動について＞

- ・阿波・布引で1回ずつ事業者の説明会があった。安定型の計画であるが不安である。
- ・説明会で若い社員が完成した暁には2年位で会社を潰すと言切るなど将来が不安だ、責任を誰が持つのか
- ・住民運動で200本の反対幟旗を立てた。7月にどんな見解書が出るか分からないが、市長と言わず議会もこの問題を早く解決してほしい。

＜複合化施設について＞

- ・阿波・布引の市民センターは新しく耐震性が有る。山田は耐震性もない。伊賀・青山には複合化施設が出来、長田は建替えとなった。来年３月には図書館がなくなる。
- ・土地の問題や旧支所に保管の書類の問題もあるが、令和７年中に青写真を作りたい。
- ・建物の解体に何億も必要だろうが、特別交付税の１割でも使って、この問題について前向きな方向を取ってもらいたい。
- ・阿山は移動図書館がすでに巡回していると聞くと、今後、現施設が休館となると５つのサークルが使っている読み聞かせの場所がなくなってしまうことをどうしていくかを考えなければならない。

＜公共交通について＞

- ・令和7年4月から路線バスが廃止代替バス（5年間）に転換、朝は高校生の乗車が多く、千戸のバス停から14～5人乗車する。協議会もアンケート結果を汲取りたい。
- ・現在、三交バスと競合は出来ないが5年後制約がなくなると国道を活かせる。また、どんぐり号1台を2～3台にしたいので、5年後の見通しを含め話を進めたい。
- ・地域内でどんぐり号と三交の乗継時刻が一致せず1時間待ちになることもあり、公共交通の役目を果たしていない。どちらかを褒えてでも利便性を良くする必要がある。

＜その他＞

- ・残る三項目は、目を改めて（奥自治協会長）

伊賀市議会議長 様

令和7年7月24日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 3 班

班長 寺村 京子